

特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク第4期事業報告書

2014年4月1日から2015年3月31日まで

1 事業の成果

第4期は、当初実施するものとして計画した事業について、概ね計画通り実施することができた。

Amanecer事業については、タレント辺見えみりさんのショップ「plage」とのコラボレーション商品の販売が今期も実現。3月11日から販売を開始した。その結果、年間での注文ベースの売り上げとして約1,700万円を達成することができた。また、文化服装学院やフェアトレードやエシカル雑貨を扱うブランドFelizとのコラボレーション企画も開始、約20名の石巻市内に住む被災した女性たちに内職を提供することができた。

グッズ販売事業では、新商品として「無事かえるシリーズ」のポシェットを発売開始。また、「無事かえるリュック」が2014年7月に「キッズデザイン賞」を受賞、このリュックがさらに広まることで、家族の普段の会話の中で、防災について考えてもらうためのきっかけが作れればと考えている。

子育てママ応援コミュニティカフェ運営事業では、期間中カフェを利用したイベントは89回開催、カフェの延べ利用者は2,836名となった。東日本大震災復興支援財団による子どもサポート基金からの助成金を活用し開催した、各種「癒しデー」におけるママ講師の中には、これがきっかけとなり、自分でサロンや教室を開業した者も出てきた。また、イベント参加者からの口コミ等により、イベントのない営業日にも、子ども連れでの来店が増えており、地域のコミュニティカフェとして認知されて来たと実感している。

石巻に恋しちゃった事業は、期間中に2回開催。第5回：2014年7~8月、62プログラム、達人数70名、参加者総数744名。第6回：2015年3月、51プログラム、達人数46名、参加者総数名626名。多くの地元住民に新たなチャレンジの機会と、交流の機会とを提供することができた。2014年7月の海の日に開催した「サン・ファン石恋まつり」や2015年3月に開催した仙台発着のバスツアーなど、新しい試みも増えている。また、お菓子づくりの達人説田氏が2014年10月にお菓子工房「chez setta」を開業、2014年4月には絵手紙の達人馬場氏がコミュニティ形成支援の任意団体「コスマスの会」を立ち上げるなど、当事業に達人として参加する方たちが自信を付けて、次のステップへと踏み出したことは、当事業の大きな成果であると考えている。

復興コーディネート事業では、積水ハウス（約500名）、DNP（約60名）、NTN（約40名）など企業等によるボランティア活動を当年度もコーディネートした。企業研修やボランティア活動の受け皿として、またボランティアニーズを持つ石巻圏のNPOや地域とマッチングできるハブとして実質的に機能していることは、一定の成果をあげられていると考えている。

Eyes for Future byランコムは、当期も、日本ロレアル、石巻市役所とともに第2期スクールを開催。女性人材育成コースからは23名が修了。女性起業家サポートコースは11名が修了。「女性起業家サポートコース」から期間中に起業した方は5名、事業拡大に取り組んだ方が6名（飲食分野4名、美容分野3名、ネットショップ分野4名）。また、「女性人材育成コース」からも、受講生が期間中に、育児や生き方に悩むママたちを支援する任意団体「grounding farm」や、女性が元気になる講座やイベントを開催する「ママ・フルーリー」を立ち上げるなど、女性の視点でリーダーシップを發揮できる人材の発掘と育成において、地域で大きな役割を担っていると考えている。なお、第3期募集は2014年12月より開始、50名が応募し、うち22名が2015年4月より受講開始予定である。

子ども・ママ支援事業では、前年度に続く、プレーパークの開始、NP（Nobody's Perfect）プログラムの実施の他に、カルビー（株）の支援により実施したジャガイモ収穫祭には200名の親子連れが参加した。また、サムソン電子からの寄付をもとに実施した入学お祝い金の配布事業では、15名の該当する世帯へ送金することができ、感謝のコメントを多く頂いている。

子育て支援団体のネットワーク形成、及び情報発信事業では、前年度末に完成した子育て情報発信のためのポータルサイトの利活用促進を目的に、登録団体を集めた発信方法についての勉強会を開催した。また、カルビー（株）からの寄付金をもとに実施した「カルビーやっぺすママこども基金」は、当該ネットワーク登録団体を主対象とした助成金であり、当助成金を利用してもらうことで、地域で活躍する6つの子育て支援団体の活動をサポート、地域の子育て環境の改善に貢献することができた。

やっぺす隊がやってくる！運営事業では、期間中のイベント開催回数は111回、イベント参加者数は延べ1376名、うち初めてイベントに参加した人は延べ47名であった。2014年11月には例年どおり、仮設住宅住民の絵手紙ほかの作品を展示する「やっぺす文化祭」を開催した。第5期は、復興公営住宅でのコミュニティ形成支援活動を開始予定である。

当年度の新規事業である「石巻地域における地域協働推進及び組織基盤強化事業」では、地域での行政と市民活動団体、あるいは市民活動団体同士の協働を推進することを目的にした「石巻協働事業研修会」および、市民活動団体スタッフの能力開発を目的とした「やっぺす！ゼミ」を開催。「石巻協働事業研修会」では、全10回のゼミ形式での連続講座参加を通じ、行政への事業提案策定という共通の目的に向かい切磋琢磨し合う中で、参加団体は互いの活動の様子を知ることができ、また刺激し合うことができた。特に、本編最終回（第8回）で実施した、各団体現場相互訪問ツアーでは、具体的なコラボレーション企画案が複数生まれた。なお、「石巻協働事業研修会」で提案された提案6事業のうち4事業（5団体）が、協働事業へと計画が進められており、今後の展開に期待が持てる。また、「やっぺす！ゼミ」においても、多種多様な分野の市民活動団体のスタッフが集まり、彼らのスキルアップの場として効果があつただけではなく、互いの活動を知ったり、地域課題について意見を交換したりする場を作ることもできた。なお、「石巻協働事業研修会」でのワークショップから生まれたアイデアをもとに、「いしのまき市民活動団体リスト」を作成、地域内の協働促進のためのツールとして活用してもらいたいと期待している。

同じく新規事業として開始した「地域起業・新事業活動拠点支援事業」では、2014年7月に石巻駅前にコワーキングスペースをオープン、起業家同士の交流サロンの開催や経営セミナーの実施ほか、経営に関する相談業務などを行った。過去支援してきた起業家たちのフォローアップや、今後起業や新事業の立ち上げを目論む事業者たちの交流拠点として、今後もその機能を高めていきたいと考えている。

2 事業に関する事項

事業名	事業内容	事業実施日時・期間	事業実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び予定人数	事業費実績(千円)
Amanecer運営事業	被災した女性が製作するアクセサリーブランドを運営する。	通年(前年度からの継続事業)	石巻市内(販売先は全国)	3	内職を受注する石巻市内の女性約20名	7,546
グッズ販売事業	当団体が扱う復興応援商品の販売を行う。	通年(前年度からの継続事業)	全国各地	5	物品購入・販売を通して石巻の役に立ちたいと考えている人約1,000人	568
おうちしごと事業(旧:生きがい仕事づくり事業)	復興支援を希望する企業と共同で、被災した女性向けの手仕事を中心とした内職を提供する。	通年(前年度からの継続事業)	石巻市内 取引先:東京・大阪など	2	石巻市内で子育てをしている女性20名から30名	385
Cafe butterfly(子育てママ応援コミュニティカフェ運営事業)	子育てに悩んでいる母親や女性が気軽に立ち寄り、働くことができるコミュニティカフェを運営する。	通年(前年度からの継続事業)	Café Butterfly(石巻市)	8	・小さい子供を持つ母親 ・市内の中高生 ・ボランティアに来た人、かかわりがある人約1500名	6,958
石巻に恋しちゃった♡	石巻市、東松島市、女川町で趣味や特技を生かした小規模プログラムを一定の期間に実施し、地域資源・人材の発掘・育成を行う。	通年(前年度からの継続事業)	石巻市、東松島市、女川町	4	対象地域に住むすべての人々が対象。(全4回で達人が述べ145人、参加者が述べ約3400人) 今年度は、実施回数は2回、達人として地域の魅力を発信できる人を述べ100人、参加者として地域の魅力を体験する人を約2000人と想定している。	17,739
石巻復興コーディネート事業	被災地での支援活動を希望する個人、企業、NPOに対し視察、ボランティア、研修などのプログラムを企画し、提供する。	通年(前年度からの継続事業)	石巻市及びその周辺地域	3	被災地での人材研修、ボランティア作業および視察を希望する個人、企業、NPOなど約750人	3,924

事業名	事業内容	事業実施日時・期間	事業実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び予定人数	事業費実績(千円)
Eyes for Future by ランコム	石巻市及びその周辺の市町村に住む女性に対し、講座の実施や起業家支援を行う。	2014年3月から10月	Café Butterfly	3	人材育成：石巻市及びその周辺の市町村在住の20歳以上の女性（主に30代中心）22名 起業家支援：石巻市及びその周辺の市町村在住の20歳以上の女性 11名	2,946
子ども・ママ支援事業	プレーパーク、教育コーチングセミナー、遠足などを実施し、被災した子どもたちや母親の孤立感やストレスを軽減し、自己肯定感を得る機会を作る。	通年(前年度からの継続事業)	石巻市及びその周辺地域	3	・ プレーパーク：仮設住宅とその周辺に住む親子約360人 ・ 教育コーチングセミナー：市内の中高生20名 ・ N P プログラム：子育て中の母親20名	2,674

事業名	事業内容	事業実施日時・期間	事業実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び予定人数	事業費実績(千円)
石巻子育て支援団体ネットワーク会議	<p>①「子ども・子育て支援ネットワーク会議」の開催 2013年5月から実施している会議を、2014年4月以降も継続性のある会議として稼働させていく。定期的に集まり、情報交換の他、他地域の事例を学ぶ勉強会なども開催する。</p> <p>②「子ども・子育て支援情報の収集、発信事業」の実施 子ども向けイベントや、子育てに関する有用な情報を集約し、発信するための各種事業を実施する。具体的には、市内にある子育て支援施設や団体、イベント情報などを集めた情報ポータルサイトの開設を実施し、子育て世代が必要な情報提供事業を実施する。</p> <p>③カルビーやっぺすママこども基金の実施 「子ども・子育て支援ネットワーク会議」参加団体を対象に、1団体5万円～10万円程度×9団体程度の助成金を交付する事務局業務を担う。</p>	通年(前期からの継続事業)	石巒市及びその周辺地域	2	<ul style="list-style-type: none"> ・石巒市内で活動する子育て支援団体 30 団体 ・石巒市内で子育てをする親、子ども 200 人(家族) 	912
やっぺす隊がやってくる！ (仮設住宅を中心とした地域全体のコミュニティづくり事業)	仮設住宅、主に開成1～14団地、南境7団地の集会所にて、月に15回程度イベントを通して、コミュニティ形成の支援を行う。	通年(前年度からの継続事業)	開成1～14団地、南境7団地集会所	2	<p>開成1～14団地の住民 約2800名 南境7団地の住民1200名 両仮設団地近隣の住民若干名</p>	541
市民農園運営事業（仮設住宅を中心とした地域全体のコミュニティづくり事業）	仮設団地周辺の農地を借り、市民農園を運営する。	通年(前年度からの継続事業)	水貫農園 (石巒市南境水貫前5-1)	1	仮設開成団地、仮設南境第7団地に居住する住民20名	3

事業名	事業内容	事業実施日時・期間	事業実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び予定人数	事業費実績(千円)
石巻地域における地域協働推進及び組織基盤強化事業	市と市民活動団体による協働の為の研修会を実施し、来年度以降の具体的な協働事業を策定する。それをもって、市民参加による石巻市の復興を加速化させる礎とする。また、石巻市内において、起業した団体の組織基盤強化・運営支援のワークショップなどを行う。	通年	石巻市及びその周辺地域	2	今後数年間の活動を通して、市行政との連携・協働を深めていきたいと考える市民活動団体及び、ビジネスを通じて人やまちを元気にする企業、個人事業、NPOを営む起業家、リーダーとそのスタッフ。30名程度。	2,150
地域起業・新事業活動拠点支援事業	①コワーキングスペース運営事業 地域において起業者等が集まり、事業の検討・活動を行い、オフィス環境を共有することで事業化への相乗効果を目指すコミュニティ・スペース(コワーキングスペース)を運営する。 ②創業支援事業 起業者等に対する経営、財務、人材育成、販路開拓等の知識がすべて身につく研修・セミナー等の開催及び経営に関する相談・指導を行う。 ③起業者交流促進事業 地域において起業意欲の醸成と起業者間ネットワークの形成を図るために、起業者間の交流イベント等を行う。	2014年7月から	石巻市及びその周辺地域	4	県内で起業を予定している社会人、大学生等、創業から3年以内の事業者及び第二創業に向けた活動を行う者。約100名。	12,450